

第2章 新発田市の概要

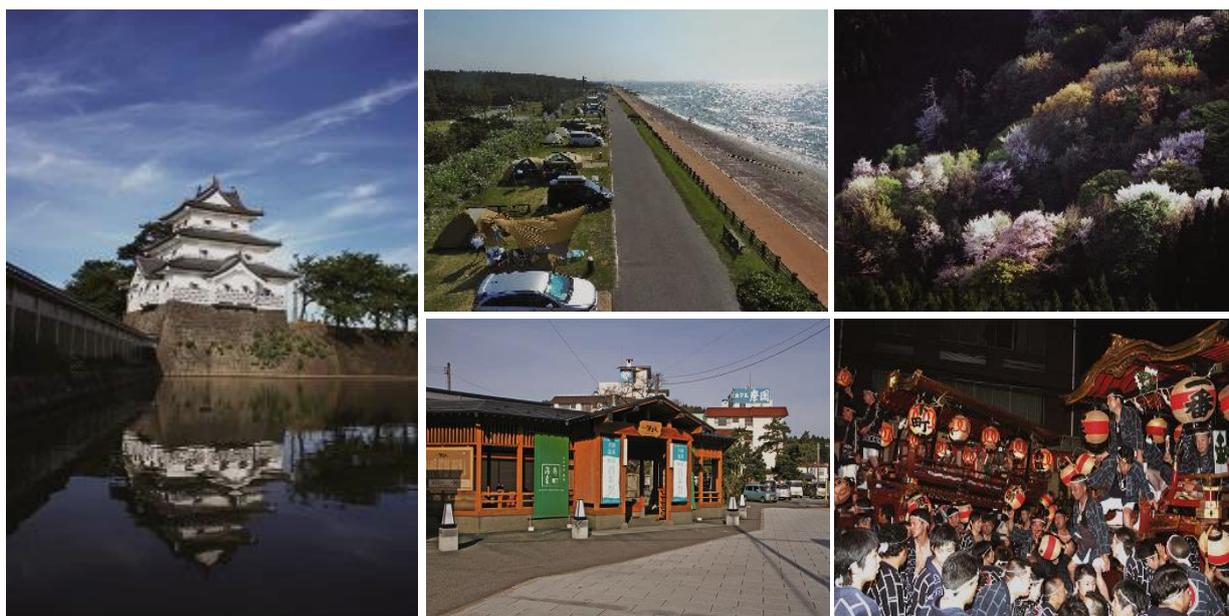
1 新発田市の特性

新発田市は、越後平野の北部に位置し、県都新潟市に隣接する市域面積 533.11 km²、人口 9万3,563人（令和5年3月末現在）の都市です。

北西には白砂青松と形容される美しい海岸が広がり、南東の山岳地帯には豊かな自然景観に恵まれた磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園があります。また、かつては東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な土地が広がっており、県内有数の良質米コシヒカリの産地でもあります。

江戸時代末期には、10万石の城下町として栄え、現在も国の重要文化財となっている新発田城や足軽長屋など、城下町新発田の文化遺産をまちの随所にとどめています。平成の大合併では、平成15年7月7日に旧豊浦町、平成17年5月1日に旧紫雲寺町・旧加治川村と合併しました。

城下町の歴史と文化、全国的にも有名な月岡温泉、山から海までの豊かな自然など、たくさん魅力を持つ新発田市は阿賀北の中核都市として発展を続けており、なかでも、近年では、健康施策において、赤ちゃんから高齢者まで、地域でいきいきと暮らし続ける「健康長寿のまち しばた」を目指して取組を進めています。



2 人口及び市国保被保険者の状況

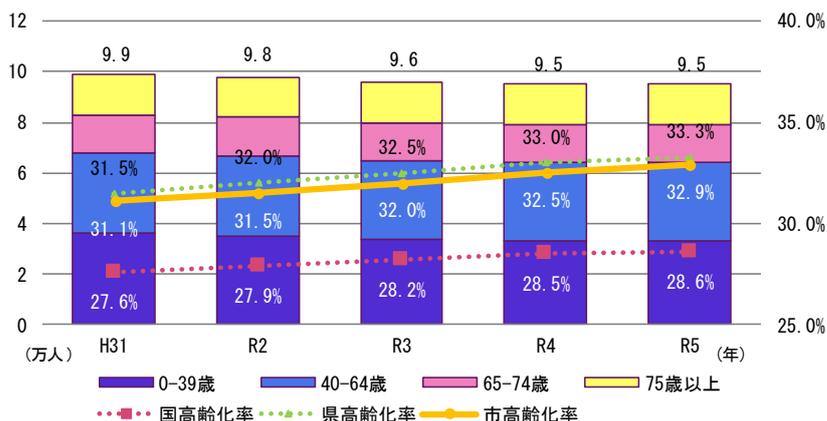
(1) 市の人口推移と高齢化の状況

・市の人口は減少しており、令和5年の高齢化率は32.9%となっている。県の高齢化率33.3%に比べて低いものの、ゆるやかな上昇傾向にある。

【図表1】 市の人口と高齢化（65歳以上）の状況

(出典：e-Stat 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査)

H31～R5 1月1日現在)



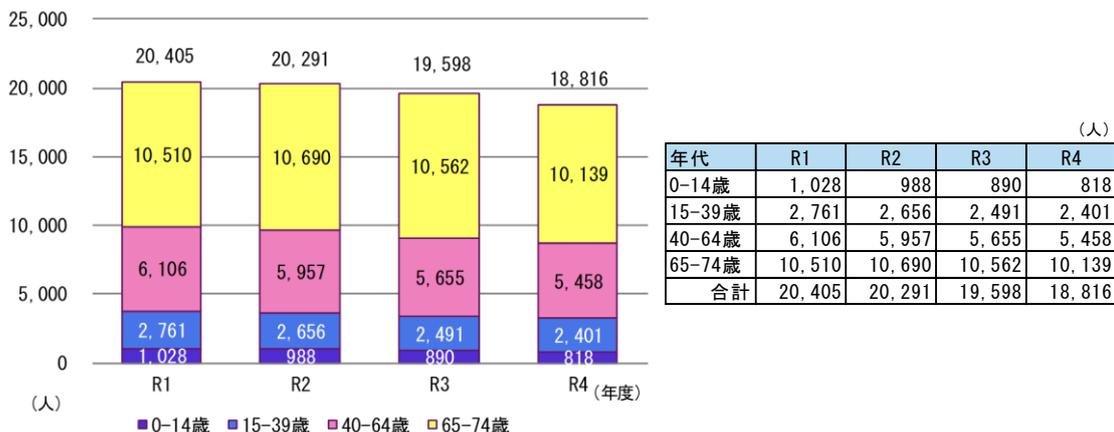
	H31		R2		R3		R4		R5		
	人数(万人)	割合									
人口	0-39歳	3.6	36.4%	3.5	36.0%	3.4	35.5%	3.3	35.0%	3.3	34.5%
	40-64歳	3.2	32.5%	3.2	32.5%	3.1	32.4%	3.1	32.5%	3.1	32.6%
	65-74歳	1.5	15.0%	1.5	15.3%	1.5	15.9%	1.5	16.1%	1.5	15.9%
	75歳以上	1.6	16.1%	1.6	16.2%	1.6	16.2%	1.6	16.4%	1.6	17.0%
	合計	9.9	100.0%	9.8	100.0%	9.6	100.0%	9.5	100.0%	9.5	100.0%
高率 高齢化	国		27.6%		27.9%		28.2%		28.5%		28.6%
	県		31.5%		32.0%		32.5%		33.0%		33.3%
	新発田市		31.1%		31.5%		32.0%		32.5%		32.9%

(2) 市国保被保険者の状況

・被保険者数は、市の人口が減少しているのに伴って減少している。(図表2)
 ・65歳以上の年齢層は被保険者全体の半数以上を占めており、その約6割が70歳～74歳の被保険者が占めている。(図表3)

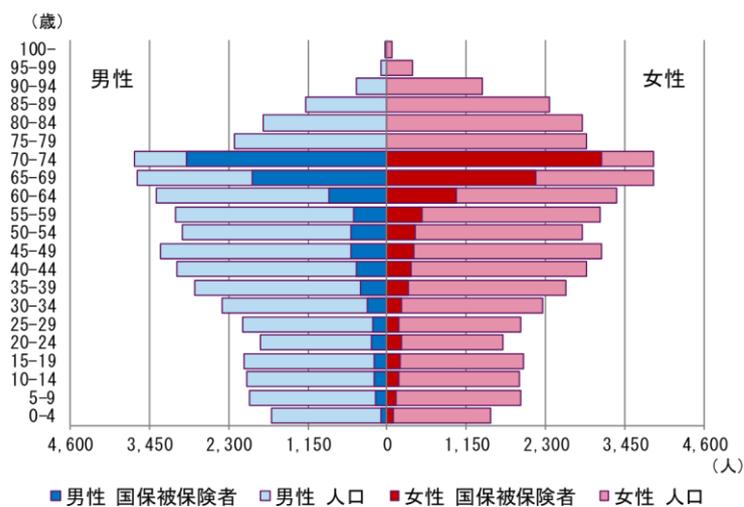
【図表2】 市国保被保険者数の推移

(出典：国保データベース (KDB) システム 帳票 S21_006 R1～R4年度)



【図表3】年齢階層別人口に占める市国保被保険者の状況

(出典：国保データベース (KDB) システム 帳票 S21_006 R4 年度)



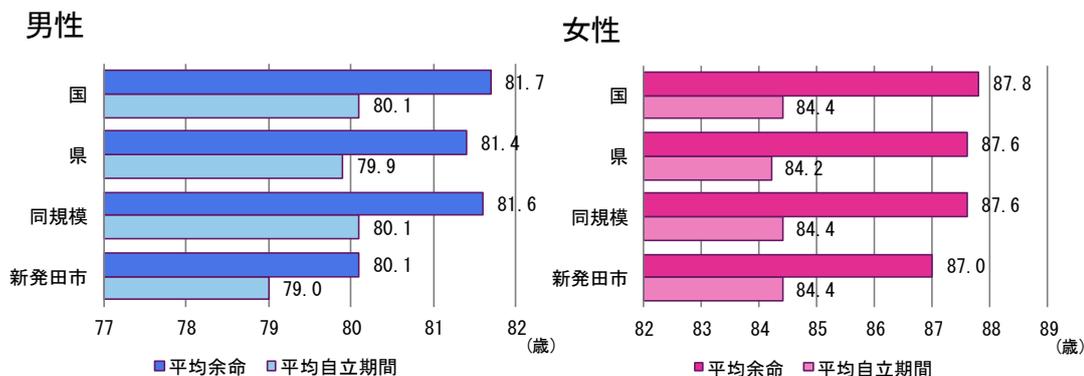
項目	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳
男性 国保被保険者	96	161	179	182	232	205	287	382	450	517	523
男性 人口	1,673	1,995	2,042	2,082	1,840	2,101	2,398	2,779	3,052	3,276	2,971
女性 国保被保険者	91	127	164	187	217	178	216	315	347	392	403
女性 人口	1,493	1,947	1,917	1,979	1,679	1,934	2,256	2,586	2,894	3,117	2,839
項目	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	
男性 国保被保険者	488	841	1,949	2,914	0	0	0	0	0	0	
男性 人口	3,058	3,348	3,628	3,663	2,221	1,790	1,187	449	80	9	
女性 国保被保険者	501	996	2,158	3,118	0	0	0	0	0	0	
女性 人口	3,081	3,337	3,870	3,871	2,882	2,827	2,350	1,378	369	72	

3 平均余命と平均自立期間の状況

- ・男性は、同規模自治体、県、国に比べ、平均余命・平均自立期間ともに短くなっている。女性も、同規模自治体、県、国に比べ、平均余命は短く、平均自立期間はほぼ同水準となっている。

【図表4】市民の平均余命と平均自立期間

(出典：国保データベース (KDB) システム 帳票 S21_001 R4 年度)



	男性		女性	
	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間
国	81.7	80.1	87.8	84.4
県	81.4	79.9	87.6	84.2
同規模	81.6	80.1	87.6	84.4
新潟田市	80.1	79.0	87.0	84.4

※KDBでは、日常生活動作が自立している期間の平均を指標とした健康寿命を算出し、「平均自立期間」としている。また、「平均余命」は、ある年齢の人々が何年生きられるかという期待値を示しており、0歳時点での平均余命を示している。

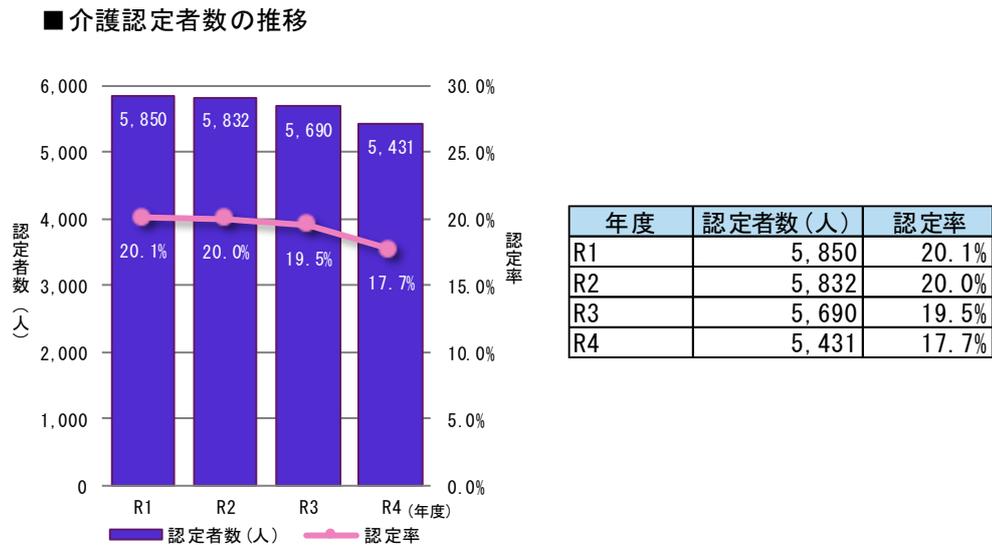
4 介護の状況

(1) 市の要介護（要支援）認定者の状況

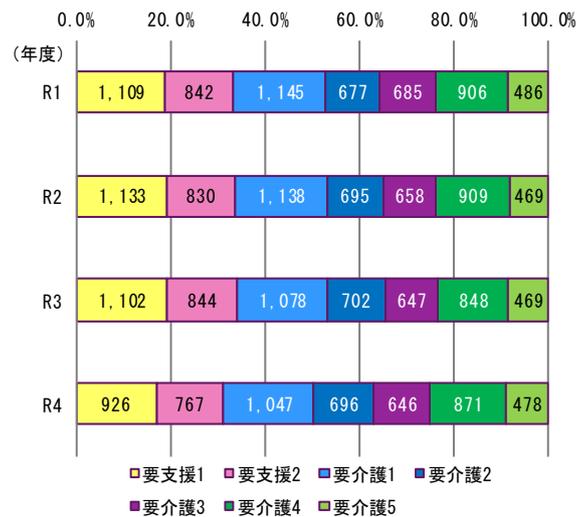
- ・介護認定者数及び介護認定率の推移は、減少傾向にある。
- ・介護度別の認定者数割合は、要支援1・2及び要介護1は減少しており、要介護2から要介護5はほぼ同水準で推移している。

【図表5】市の要介護認定者数及び介護度別認定者数の推移

(出典：国保データベース (KDB) システム 帳票 S24_001 R1～R4 年度)



■ 介護度別介護認定者数割合の推移



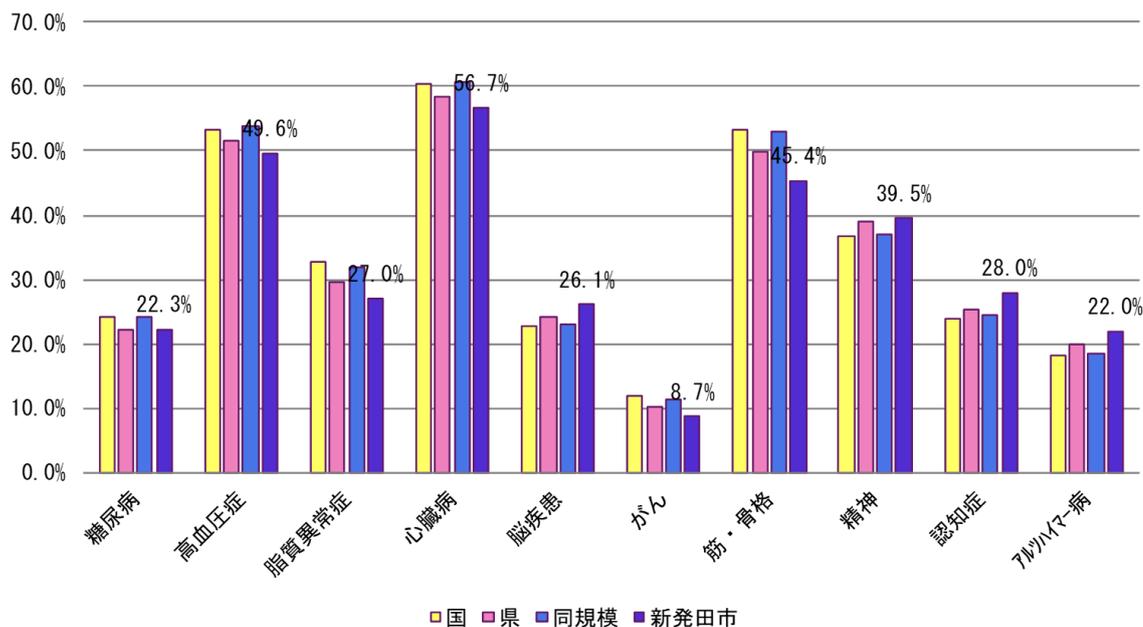
年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
R1	1,109	842	1,145	677	685	906	486
R2	1,133	830	1,138	695	658	909	469
R3	1,102	844	1,078	702	647	848	469
R4	926	767	1,047	696	646	871	478

(2) 市の要介護認定者の有病状況

・要介護及び要支援認定者の疾病別有病率は、同規模自治体、県、国に比べて「脳疾患」、「精神」、「認知症」、「アルツハイマー病」で高く、「高血圧症」、「脂質異常症」、「心臓病」、「がん」、「筋・骨格」では低くなっている。

【図表6】市の要介護認定者の有病状況

(出典：国保データベース（KDB）システム 帳票 S21_001 R4 年度)



	疾患名	介護認定者(1-2号)				
		国	県	同規模	新発田市	
					割合	該当者数(人)
基礎疾患	糖尿病	24.3%	22.2%	24.2%	22.3%	1,247
	高血圧症	53.3%	51.6%	53.8%	49.6%	2,830
	脂質異常症	32.6%	29.5%	31.8%	27.0%	1,556
重篤化した疾患	心臓病	60.3%	58.4%	60.8%	56.7%	3,240
	脳疾患	22.6%	24.2%	23.1%	26.1%	1,457
その他	がん	11.8%	10.3%	11.3%	8.7%	537
	筋・骨格	53.4%	49.8%	53.1%	45.4%	2,574
	精神	36.8%	38.9%	37.0%	39.5%	2,276
	認知症	24.0%	25.4%	24.4%	28.0%	1,620
	アルツハイマー病	18.1%	20.0%	18.5%	22.0%	1,277

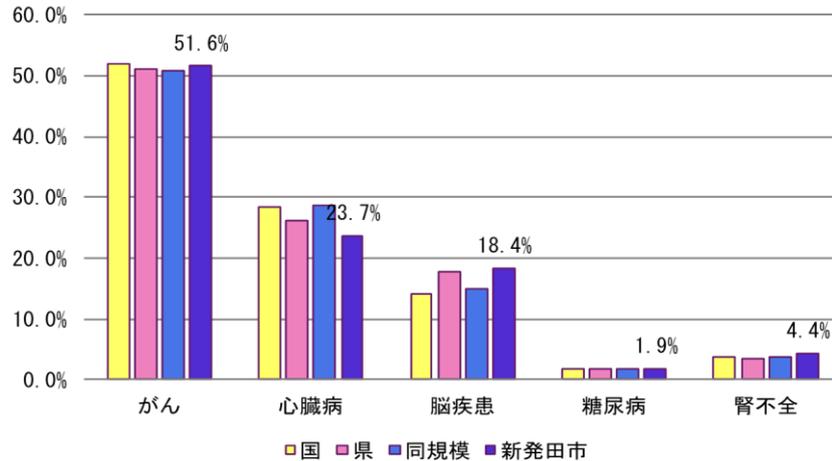
5 死亡の状況

(1) 市民の疾病別死亡人数・割合の状況

- ・主たる死因となった疾病割合は、「がん」が51.6%と一番多くなっている。
- ・同規模自治体、県、国に比べて、「脳疾患」と「腎不全」の割合が高くなっている。

【図表7】市民の疾病別死亡人数と割合

(出典：国保データベース (KDB) システム 帳票 S21_001 R4 年度)



	国	県	同規模	新発田市	
				割合	死亡数(人)
がん	52.0%	51.0%	50.7%	51.6%	349
心臓病	28.3%	26.1%	28.6%	23.7%	160
脳疾患	14.1%	17.7%	15.1%	18.4%	124
糖尿病	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%	13
腎不全	3.7%	3.4%	3.7%	4.4%	30
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	676

(2) 標準化死亡比 (SMR) の状況

- ・市の疾患別標準化死亡比は、男性では「悪性新生物〈腫瘍〉」、「脳血管疾患」、「腎不全」が、女性では「脳血管疾患」、「腎不全」が、それぞれ県・国よりも高くなっている。

【図表8】標準化死亡比 (SMR)

(出典：e-Stat 人口動態統計特殊報告 平成25年～平成29年)

	男性		女性	
	県	新発田市	県	新発田市
悪性新生物〈腫瘍〉	102.4	108.9	98.0	97.7
心疾患 (高血圧性を除く)	総数	94.6	85.2	88.7
	(再掲) 急性心筋梗塞	101.8	69.8	90.8
	(再掲) 心不全	103.6	87.9	93.0
脳血管疾患	総数	123.2	133.1	121.5
	(再掲) 脳内出血	119.3	124.2	120.9
	(再掲) 脳梗塞	127.0	140.3	125.4
肺炎	88.9	92.0	78.3	92.8
肝疾患	77.6	92.6	70.2	70.6
腎不全	81.8	119.6	84.4	122.2

※標準化死亡比 (SMR) は全国を100として新発田市・県を比較しており、100より大きければ主要原因としての割合が高く、小さければ主要原因として低い。